

がっこうぐらし！～龍  
となつた転生者～

ナイトメアY

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したもので  
す。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を  
超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

神様のミスにより死んでしまい、転生することになった龍斗（りゅうと）。特典をも  
らつたが、行く世界はランダムで決められ、がつこうぐらし！の世界に行くこととなっ  
た。更に原作知識なし？の状態で…。龍斗はこの世界でどう動くのか…。

タグは他にファンタジー要素（一部）あり、他の転生者あり（約2名ほど）。少々？原  
作ブレイク、オリジナル展開ありなどがあります。後から他にタグ追加すると思いま  
す。

投稿は不定期だと思います。

目

0 章 転生後の日常

プロローグ

第一話

第二話

次

9 5 1



# 0章 転生後の日常 プロローグ

俺は龍斗ただの高校生だ。

今なにをしているかって？

今学校が終わつたから帰つてているところだが？

そして、家に帰つたらアニメを見るつもりだ。

「さあ～つて家に帰つたらなに観ようかな。」

ごち○さやあん○ピも観たし、やつぱりスロ○タも…

俺は考え事をしながら歩いていたため、気づいていなかつた。  
今赤信号になつていていた。

そのまま強い衝撃をうけて、俺は気を失つた…

「うーん、ここは？」

俺はいつたい何をしていたつけ？

そう思い周りの様子が気になり見たがただの真つ白い部屋にいる事ぐらいしか分からぬ。

「さあ次の転生者よ。ここは神界じやよ」

神界？ そうか自分は車に轢かれて。

「そうじや」

？  
「うむ。俺は死んだのか：俺はどうすればいいんだ？このまま天国にでも行くのか

「いや、転生してもらうんじやよ。」

転生か。なら、

「もちろん特典はあるぞい。まあ1つだけじやがな。」

うーん色々な能力を考えられるが…それなら、龍にしてもらつていいかな？

「フム、なぜじや？」

ファンタジーの世界だつたら大体強いことが多いからな。

「うむ。分かつたのじや」

で、どんな世界なんだ？

「今から決めるのじやよ。あみだくじでじや。」

へ？ あみだくじ？ なんで？

「そうじや。理由は何となくじやよ。では、どこじや。どこにいくんじや……ここじや

！ うむ。がつこうぐらし！ の世界じやな。」

はあ!? 思いつきり現代だし、パラデミックになる世界じゃんか！ 龍、思いつきり目立つじやん！ 駄目じやん。解剖される未来が見えそんなんだけど!?

「大丈夫じやよ。最初は人化させた状態から始まるようにするつもりじやよ。もちろん龍とは分からぬいようにもしとくのじや」

ほつ。良かつた。それなら安心だ。

「まあ赤ちゃんから結局始まるんじやかな（ボソツ。」

なら後は原作知識を使つて：

「原作知識はがつこうぐらし！ の世界では忘れるようにしておるからの」

使つて…ええ!? なんで!?

「原作知識はどうせ使わないじやろ。転生者というイレギュラーがいたら未来が変わることはあることじやからな。」

そ、そとか。

「では、そろそろ時間じや」

わ、分かつた。

「では、次の世界で楽しく過ごすんじやぞ〜」

後から、パラデミックなるから、楽しく過ごせる気がしないんだが？

「そこは気にするでない。どうせ原作知識は消えるじやからな」

お、おう。

「それでは」

ああ、じゃあな。

龍斗の下から強い光を放ち、後は神だけとなつた。

・・・

「あの世界だけじやよ。忘れるのは。」

また人の姿が現れた。

「さあ次の転生者よ。ここは神界じやよ」

さあ次の仕事じや。

# 第一話

オツス！俺は、龍斗だ。転生してから早、16年がたつたぞ。まさか、赤ちゃんからとは思わなかつたな。今度、神様に会つたら一発ぶん殴るか！あとは、少し記憶がないところがあつたけど別に問題なかつたしな。

まあ、これまでのことを簡単に説明すると、俺のお父さんとお母さんは産んすぐ行方不明になつてゐるらしい。だから、親せきに引き渡されて、苗字もその親戚のものだ。その親戚にも子供がいるのだが、その子とは、8歳も年が上だ。まあ結果的にお義姉ちゃんになるわけだ。更に、お義姉ちゃんと仲良くしている先輩もいるのだが、俺と年は10歳も違うわけだからお義姉ちゃんと2歳違ひだな。

それから、今、お義姉ちゃんと先輩は巡ヶ丘学院高等学校の国語の教師と数学の教師をしてゐるんだけど：お義姉ちゃんは弓道、先輩は剣道の中、高、ともに、個人戦で6年間全国大会優勝してゐるんだよなあ。更に、最近なんて、お姉ちゃんは、高速で動いている的を、走りながら、全部の的の中心に当たりしてゐるし、先輩なんて最近剣術を覚えたりして、木刀で、鉄を切つたりしてゐるし、龍の俺が言えることじゃないけど、お義姉ちゃんたちいろいろおかしいと思うんだが：

まあ、俺も俺でいろいろおかしいんだけどな。昔は、一ヶ月に一回家を抜け出して、少しの間誰にもばれないように、龍化したり、龍と人の間の龍人化を使えるようになつたりと、いろんなことをしているぜ。

顔は普通ぐらいで、成績はトップ。運動もトップだ。まあ龍+前世の記憶持ちだしね。仕方ないね。

あと、そろそろお義姉ちゃんの名前を言つておこう。お姉ちゃんの名前は……『佐倉（さくら） 慈（めぐみ）』そして俺が『佐倉 龍斗』だ。お姉ちゃん達からは、『りゆう』と、いつも言われている。俺は、『慈義姉さん』といつも言つている。あと先輩の名前は、『神山（かみやま） 昭子（あきこ）』さんだ。

今日は巡ヶ丘高校の入学式だからな。お義姉ちゃん達は先に学校に行つているし、僕もそろそろ行かないとな。

少年移動中：

よし！高校に到着！さくて教室に待機しておくかあ。

教室に移動中…

教室に到着！「さて、自分の席は…あそこか。」

自分の席にある方向には、二人の女の子がいた。

どうやら、片方の女子が、僕の席に座つておしゃべりしているようだ。

なので、近づいて

「えっと、すみません。ここ僕の席なので、少しどいてくれませんか？」

すると、自分の席に座つていた女の子は

「あっ。すいません」といつて、席を立つた。

そして、後ろの席の女の子の横に行き、その後ろの女の子から

「ねえ。名前教えてよ。私の名前は祠堂（しどう）圭（けい）だよ。ほら、美紀もいいなよ。」

と後ろの席の女子、もとい、祠堂さんが言つた。

「えつ。もう圭つたら。私の名前は直樹（なおき） 美紀（みき）です。さつきは勝手に席を使つてすいません」

もう一人の女子はお辞儀をしながら言つた。

「ああ。大丈夫だよ。俺の名前は、佐倉 龍斗。よろしくな！」

「ここから三人で入学式が始まるまでしゃべつていた。」

そして、入学式が終わり、放課後なり、お義姉ちゃんと一緒に住んでいるため、晩御飯準備をするので家に帰つたのだつた。

## 第二話

オツス！俺は龍斗！つて、またこのくだりかよ。いやもう1年たつて高校2年生だぜ。この1年間色々あつたな。

部活動見学では、陸上部の先輩達にめっちゃ勧誘されたし。まあそこで、一つ上の恵飛須沢胡桃先輩（以降、胡桃先輩）と今は卒業した神谷（かみや）駿輔（しゅんすけ）先輩（以降、駿輔先輩）とも出会えたし。で、自分は結局園芸部に入つたんだけどな。運動部だつたらオーバースペックすぎだからな。

園芸部の現部長の若狭悠里先輩（以降、悠里先輩）とも仲良くしてもらつて、悠里先輩の妹、瑠奈（るな）ちゃんとも、仲良くしている。

後は、慈義姉さん（学校ではきちんと佐倉先生と呼んでる）の所に行くと、よく丈槍（たけや）由紀（ゆき）先輩（以降、由紀先輩）と柚村（ゆずむら）貴依（たかえ）先輩（以降、貴依先輩）とよく会う。由紀先輩は幼いイメージが大きくて、高依先輩が保護者としているイメージが大きい。高依先輩はギャルっぽいから勘違いされやすいけどいい人だ。由紀先輩は慈義姉さんになつてゐるみたいでよく話している光景をしている。由紀先輩と高依先輩国語が苦手でよく補修に來てゐるみたいだ。由紀先輩と

高依先輩は幼なじみみたい。風の噂では由紀先輩は巫女をしているみたい。高依先輩は巫女の護衛という噂がある。本当かどうかは本人たち以外不明みたいだけど。本當なのかな？

クラスメイトの祠堂（しどう）圭（けい）さん（以降、祠堂さん）と直樹（なおき）美紀（みき）さん（以降、直樹さん）とは仲良くしてて、一緒に本を読んだり、祠堂さんが古いもの好きみたいでそれを見に行つたりと楽しく暮らしているぜ。

そういうえば義姉さんたちが色々と人をやめている気がする。慈義姉さんは弓で鉄を切つたり、木の矢で鉄的を貫通させたり、神山さんは木刀や竹刀手刀で斬撃を放つたり、手刀で5cmの厚さがある木の板を切つたりしてるし、今は手刀で鉄を切ろうとしているみたい。慈義姉さんは、体勢が崩れていても弓矢を絶対に当てるよう練習してて、見せにくるたびに、「すごいでしょう！」つていつてる気配があるし、義姉さんたちは一体何を目指してるんだろう？

自分は変わったことと言つたらある日散歩してたら犬の散歩をしているあるお婆さんと会つたことかな？ご近所さんだつたから朝に一緒に散歩し始めたり、お婆さんの豆知識を教えてもらつたり、お婆さんが飼つてゐる犬「太郎丸」と一緒に遊んだり、樂しく過ごしてゐると思うぞ。

明日は家にある材料がなくなりそうだし、学校が早く終わるから祠堂さんと直樹さん

一緒にモールに行くつもりだ。まあなんことが起こるとは思わなかつたけどな。